

伊豆総合高校バドミントン部

顧問 小林綾子

平成 22 年 4 月、大仁高校と修善寺工業高校が統合され、伊豆総合高校がスタートしました。開校当初、渡邊先生、伊藤先生の厳しいご指導のもと、部の礎が築かれ、初心者ながら団体戦・個人戦において県大会で活躍する選手が輩出されたと聞いております。

現在部員数は 1～3 年まで合わせると男女で 50 名。高校からバドミントンを始める生徒ばかりで基本練習を大切に毎日練習に励んでいます。限られた時間の中、大人数のために基礎打ちもローテーションにしたり、平日はノック練習を中心にしてしたりしてシャトルを打つ回数を増やすようにしています。技術の向上はもちろんですが、卒業後就職する生徒も多いため、

「挨拶をすること」、「時間を守ること」など社会人として必要なマナーや人格を身に付けることを大切にしたいと考えています。

一昨年、私が赴任して初めて、男子の経験者が 1 名入部してきました。彼のプレーに周りの生徒も刺激され、男子のチーム力はだいぶアップして今年度の総体東部大会団体戦では 6 位、新人戦では 5 位に入ることができました。県大会出場を果たし、生徒たちにとっては大きな自信に繋がったと思います。女子も団体戦県大会出場を目指して努力しています。前回のオリンピックの好成績を契機に、

国際大会でのトップ選手たちの活躍もあって、バドミントン人気はさらに高まっています。バドミントンに興味を持ち、やってみたいと考える高校生達と共に今後も汗を流していきたいと思ひます。



駿河総合高校女子バドミントン部 顧問 柴田 睦

私たち、駿河総合高校女子バドミントン部は、2 年生 8 名、1 年生 6 名の計 15 名が所属し、顧問の先生方と毎日楽しく一生懸命活動しています。

チームの目標は「**県大会出場**」です。

まだ、大会で大きな結果を残せていないため、チーム一丸となり互いに切磋琢磨しながら練習に励んでいます。

部員全員が初心者で、最初はラケットの握り方も分からず不安でいっぱいでした。しかし、先生方や先輩方の丁寧な指導のおかげで、最近では試合で勝つことも増えてきました。たくさんの方から教えていただいたことを最大限に生かし、全員で協力しながら、これからも練習を頑張ります。



飛躍する、プレーヤーを応援!!

第 1 2 回全日本レディースバドミントン競技大会(個人戦)

平成 29 年 12 月 8(金)～10(日) 会場 カメイアリーナ仙台、宮城野体育館・青葉体育館

準優勝 2 部

小林朋子・山本晴世(桔梗・スルガウイングス)
宇佐美洋子・太田清子(桔梗・未来)

ベスト 8 Eブロック

小林昭子(桔梗)・中西ひろ子(ウェンディ)
杉ゆき江・稲森修子(スルガウイングス)

第 3 1 回東海レディースバドミントン大会(個人戦)

平成 29 年 11 月 10 日東遠カルチャーパーク総合体育館『さんりーな』

優勝 フリーの部

中山・松浦(パワーズ)

準優勝 4 5 の部

河村・草田(ウィッシュ・北部クラブ)

三位 4 0 の部

戸塚・扇菌(シャトルズ)

優勝 5 5 の部

太田・山本(未来・ウィッシュ)

三位 5 0 の部

神田・杉(スルガウイングス)

第 3 4 回全日本シニアバドミントン選手権大会

平成 29 年 11 月 18～20 日 いしかわ総合スポーツセンター他 7 会場

静岡県勢の主な成績

種目: 30 歳以上男子ダブルス

ベスト 8 尾崎弘一・大野裕菜

種目: 30 歳以上混合ダブルス

3 位 尾崎弘一・田島朝美(東京)

種目: 40 歳以上女子シングルス

3 位 橋本裕美

種目: 60 歳以上男子シングルス

準優勝 芹澤英彦

3 位 佐野明彦

種目: 60 歳以上男子ダブルス

準優勝 芹澤英彦・佐野明彦

種目: 60 歳以上女子ダブルス

優勝 太田清子・森田須賀子(大阪)

種目: 60 歳以上混合ダブルス

準優勝 高岡桂(福井)・太田清子



第 3 回日本障がい者バドミントン選手権大会

平成 29 年 12 月 16・17 日 シーハットおおむら(長崎県)

ID(知的障害)男子ダブルス

優勝 渡辺力・遠藤聖也組

ID(知的障害)男子シングルス

第 3 位 渡辺力

